

2011年2月発信

報道関係者各位

2011年、各地のたんぼに「ゲゲゲの鬼太郎」現る！

“地域おこし・日本おこし”の期待を担って『たんぼアートニッポン・プロジェクト』始動！
 今年は「ゲゲゲの鬼太郎、各キャラクター」での展開が決定。

株式会社家の光出版総合サービスは2011年より「たんぼアート」をテーマに全国各地をネットワーク化し地域の活性化と農業振興に寄与する、『TANBO Art Nippon Project (たんぼアートニッポン・プロジェクト)』をスタートさせます。

たんぼアートはもともと、1993年に青森県田舎館村から始まった地域おこしで、田舎館村では年間20万人前後の観光客が訪れる一大イベントに成長。2000年代に入ってから急速に各地に波及し、その数は全国110カ所とも160カ所とも言われています。地元住民の結束力を高める地域行事として、さらには近隣・遠隔地から客を喚び寄せる新たな観光資源としても期待が高まる一方で、地域によってはノウハウが不足しているため苦労や負担が大きい、予想したほどの成果が得られていないといった課題も表面化しています。

そこで、たんぼアートが農業そのものへの関心を高め地域の農業振興にも有効な施策であることに着目。課題解決の受け皿となってソフトやノウハウを提供するとともに、より話題性と発信力のある全国規模のイベントにするために、単独で開催している各地のたんぼアートを集約し、地域の枠組みを超えて、統一キャラクター（もしくはテーマ）で展開する『TANBO Art Nippon Project』を立ち上げました。

この主旨に対し、2010年の話題をさらった漫画家 水木しげる氏からいち早く賛同が得られたので、2011年度は「ゲゲゲの鬼太郎等、各キャラクター」で展開することが決定。全国10カ所程度の開催を目標にし、すでに埼玉県越谷市の「こしがやたんぼアート実行委員会」、静岡県菊川市の「菊川市たんぼアート実行委員会」が参加を表明しています。この他、青森県田舎館村をはじめ、いくつかのたんぼアート実行委員会が検討中です。家の光出版総合サービスはこのプロジェクトを通して、地域に元気を喚び戻し、ひいては日本農業発展の一端を担うことができれば幸いと考えています。



©水木プロ

<会社概要>

会社名 株式会社家の光出版総合サービス

代表取締役社長 三田一夫

資本金 3,200万円

主な事業 制作事業部 年史を中心とする各種書籍、宣伝物、機関誌などの受託制作。 広告事業部 広告、広報の企画・実施および広告代理業務。 ビル事業部 飯田橋レインボービル及び家の光会館の管理及び貸会議室業務。

年間取扱高 6.3億円(平成21年度)

<本件に関するお問い合わせ>

TANBO Art Nippon Project 広報担当：泉、長谷部

tel 03-5261-2303 fax 03-5261-2307 E-mail; TANP@ienohikariss.co.jp